

【調整中】滋賀県 次世代モビリティ・航空宇宙産業分野における地域産業クラスター計画の概要

1. 産業領域：次世代モビリティ・航空宇宙産業領域

鉄素形材製造業（鉄鋼業） 、 その他の鉄鋼業（鉄鋼業） 、 金属線製品製造業（金属製品製造業） 、
電子部品製造業（電子部品・デバイス・電子回路製造業） 、 自動車・同附属品製造業（輸送用機械器具製造業）

2. 対象エリア：滋賀県内全域

3. 目指す姿（目標）

（1）現状の整理

- 次世代モビリティやその技術の高度化による発展が期待される航空宇宙分野は、世界的な需要増加や市場創造など、今後の成長性が見込まれる。
- 地理的優位性等を背景とし、県内には、関連企業が多数集積し、次世代モビリティ・航空宇宙産業を支える受注基盤が構築されており、事業拡大の動きもある。
- 一方で、企業への伴走支援や設備投資の支援、人材確保・育成が必要と認識している。

（2）目指すべき目標

5年後の目標(KGI)として、以下を設定。

- 官民設備投資額：193億円
関連産業に係る投資動向等を踏まえ、算出。
- 付加価値増加額：全国平均＋5%以上
滋賀県独自に算出
- 産業人材育成数：7,000人
産業人材育成に係る取組について、対象者数（見込み）をもとに算出

4. 勝ち筋

（1）基本戦略

- 本県には、金属塑性加工や表面処理技術、精密樹脂成型技術等、既存産業の確固たるコア技術を有する企業が全域に立地している。
- これら技術は、航空宇宙分野で求められる特殊金属の加工技術や極限環境に耐える表面技術、機体等の軽量化に不可欠な先端素材加工技術等への応用・融合が期待される。
- 本県の強みである学術・研究基盤の充実を核とした産学官連携により、技術を高度化し、成長性の高い「次世代モビリティ・航空宇宙産業」における生産能力・技術力の向上を図る。

（2）投資の具体像

官：産業技術共創センターにおける最先端の試験分析・評価機器の整備 等
民：当該産業の世界的な需要等に対応するため、増産体制の構築に向けた設備投資を実施。

（3）地域へのインパクト、目指すべき姿

- 産業クラスターを形成することで、地域産業の付加価値向上やさらなる雇用創出を実現。
- 当該産業における日本全体の産業振興や国際競争力向上に資する産業基盤を形成する。

5. 政策手段

（1）投資促進に向けた課題

- 企業等が抱える経営課題の解決や投資計画の円滑な進捗にむけ、行政による伴走的な支援が必要。
- 企業の設備投資促進や研究開発の活発化に向け、産学官の密な連携が必要。
 - 専門人材の育成・確保に向けた、一体的な仕組みづくりが求められる。

（2）講じるべき政策パッケージ

- 下記政策により、①投資促進、②技術を核とした新産業創出を連続的に生み出す仕組み（エコシステム）を強化し、産業クラスター（エコシステムを備えた企業等の集積）を形成する。
- 多面的な伴走支援
 - 産学官連携による、研究開発の促進とオープンイノベーション、スタートアップ創出
 - 高度産業人材・専門人材の持続的な育成と確保
 - クラスターを支える基盤・生活環境の整備

（3）KPI及びKPI未達時の撤退基準

- KGIの達成に向け、官民設備投資額および産業人材育成数について、年度ごとの目標値を設定